

意見交換会（平成24年7月8日）の報告

意見交換会の概要

中間とりまとめを踏まえ、「環境・景観の保全」「旧清里有料道路の活用」の2つの重要な課題について、さらに掘り下げて、様々な立場からご意見を伺うため、関係市町村、住民、各分野（物流業、観光業、医療関係、地域団体等、公共交通機関）の代表者を一堂に会した意見交換会を開催しました。

1. 日時等

日 時 : 平成24年7月8日（日）13:30～15:30

場 所 : 南牧村中央公民館

テーマ : 「環境・景観の保全」
「旧清里有料道路の活用」

2. 参加者

意見交換会出席者 12名

（市町村長、住民・各分野代表（物流、観光、医療、地域団体、公共交通機関））

※傍聴者24名、報道関係者9社

3. コーディネーター

かくろう

井上 赫郎 氏 （株）まちづくり研究所 代表取締役

4. 公 開

・北杜市、小諸市、佐久市、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、において、意見交換会の模様を各地域のケーブルテレビで放送。

・国土交通省 甲府河川国道事務所、長野国道事務所のホームページで議事録等を公表

中部横断自動車道（長坂～八千穂）意見交換会／まとめ

（文責 井上）

1. 当日の議事

- （１）挨拶（関東地方整備局 道路部長）
- （２）これまでのコミュニケーション活動等の報告
- （３）意見交換会
 - ・環境・景観の保全について
 - ・旧清里有料道路の活用について
 - ・その他

2. 全体の感想

- ・傍聴者や会場外での人々、報道関係者や自治体関係者など、多くの参加者がいて、この問題に関する関心の高さがうかがえた。
- ・意見交換会は円滑に進行でき、会場の雰囲気も概ねは良好であった。限られた時間ではあったが、参加者も一応十分な発言ができたと判断できる。
- ・参加メンバー１２名のうち、中部横断自動車道について早期建設を希望する方が９名、慎重な対応や懸念を表明した方が３名であった。

3. 意見交換会での主な意見

＊詳細は別途議事録参照のこと

（１）高速道路そのものの必要性等の評価について

- ・観光面や地域産業での利便性の向上のために高速道路の早期整備が必要である。
- ・高速道路を利用しての運搬は、物流のジャストインタイムを可能とするために必要である。
- ・南佐久地域では、ドクターヘリの運航も実施しているが、ヘリだけでは十分な救急活動はできなく、ヘリの到着先への救急搬送が必要となる。ヘリで運べず救急車で運ばざるを得ない場合もあり、陸路での時間短縮は重要である。
- ・太平洋と日本海をつなぐ高速道路として、国家的にみても危機管理上、必要な道路である。
- ・佐久地域から都心へ向かうルートとして現在の「上信越道～関越道」に加え、「中部横断道～中央道」の２ルートがあると便利である。
- ・国道１４１号は、狭隘な箇所が多く、冬場の交通事故等は重大事故につながる恐れがある。また、大型トラックが頻繁に通り、沿道住民は注意しながら生活している。
- ・高速道路の整備が決定すると、移住者や別荘所有者がいなくなり、北杜市の過疎化がはじまる恐れがある。観光についても通過交通が増えることが予想され、地域の経済には負の遺産となる。
- ・既存の国道１４１号の改良あるいはそれに並行して道路整備をすべきである。高速道路を整備するにしても地域を分断してつくらないことが必要である。

(2) 環境・景観の保全について

- ・中部横断自動車道を整備するにあたっては、環境・景観の視点は大変重要である。いろいろ工夫や克服ができる点があれば改善すべきである。
- ・ハヶ岳南麓の観光客は自然豊かな景観を求めてやってくる。高速道路の建設は景観を損ねる。
- ・環境・景観を保全しながら整備を進めてほしい。
- ・化学物質過敏症の人が暮らせる自然が豊かで空気の澄んでいる地域は、全国にそれほどない。高速道路の整備による環境の変化で、同様な症状の人が行き場を失う。
- ・高速道路を整備する場合、連続高架橋等の形式は、長坂～八千穂間にはふさわしくない。
- ・場合によってルート変更を含めて話し合いが必要であり、景観にマッチした整備が必要である。

(3) 旧清里有料道路の活用について

- ・費用対効果、環境・景観の保全のことを考えると、旧清里有料道路や現道の活用を検討すべきである。
- ・設計速度50キロで縦断勾配9%であり、活用するには十分な検討が必要であるが、早くつなげるという魅力は大きい。
- ・コスト削減のために一時的に旧清里有料道路の活用も必要である。しかし、将来的には全線の幹線道路が必要である。
- ・9%の縦断勾配があり、冬場の雨上がりの朝などは路面が凍結する。高速道路としての利用は危険であり、考えられない。
- ・完全な4車線道路での高速道路の整備を希望する。
- ・旧清里有料道路は、無料になった現在、地域住民にとっては生活道路となっており、また景色が良いため観光道路ともなっている。地方小委員会や国土交通省の人にも現場をみてほしい。そのうえで結論をだしてほしい。
- ・そのまま高速道路としての利用には無理がある。他のルートや工法を含めた検討が必要である。

(4) コミュニケーション活動について

- ・事業の推進派と慎重派のそれぞれの立場を尊重しながら事業を進めるべきである。住民に対する説明会は重要である。
- ・アンケートが配布されるまで、中部横断道の計画を知らない人が多かった。別荘にはアンケートが配られていないので、今でも計画をしらない人がいる。
- ・アンケートの配布方法や集計方法に問題がある。
- ・今後も意見交換会を北杜市で何回も開催してほしい。